

科目責任者 赤沢 学（公衆衛生・疫学研究室）

■ 教育目的

人々（集団）の健康と疾病の現状及びその影響因子を把握するために、保健統計と疫学に関する基礎的事項を習得する。また、生活習慣病対策、感染予防、母子保健、学校保健、労働保健など、健康増進並びに疾病予防について、医療人として正しい知識と技能を身に付ける。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、YD-②、YD-⑤】

■ 学習到達目標

1. 保健統計の意義、指標、変移、情報入手について正しく理解する（知識・技能）
2. 疫学データ並びに分析手法を学び、リスク評価ができるようにする（知識・技能）
3. 健康増進・疾病対策についての関連法規、実務を理解する（知識）
4. 公衆衛生、疫学分野の論文を読み、理解できるようになる（技能）

■ 準備学習（予習・復習）

予習：指定された課題の準備をしておく（30分）

復習：保健統計や疾病対策等について、最新情報を確認しておく（20分）

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	公衆衛生と健康	授業の進め方説明、健康の概念、予防の概念	D1(1)-①-1
2	疫学 1	疫学とは、三要因、因果関係	D1(1)-③-1
3	疫学 2	疾病・死亡の指標、疫学の効果指標	D1(1)-③-2
4	疫学 3	疫学研究のデザイン	D1(1)-③-3
5	疫学 4	バイアス、スクリーニング	D1(1)-③-4
6	特別講義	薬剤疫学（レポート）	E3(1)-⑥-1～4
7	保健統計 1	人口静態統計、人口動態統計	D1(1)-②-1
8	保健統計 2	死因統計	D1(1)-②-3
9	保健統計 3	疾病統計	D1(1)-②-2
10	課題発表 1	課題論文の発表（レポート、プレゼンテーション）	
11	課題発表 2	課題論文の発表（レポート、プレゼンテーション）	
12	疾病の予防 1	健康日本 21、生活習慣病対策、がん対策	D1(2)-①-1～2 D1(2)-③-1～3
13	疾病の予防 2	母子保健、感染症対策	D1(2)-②-4 D1(2)-④-1～2
14	疾病の予防 3	学校保健、産業保健	D1(2)-⑤-1～2 B4-②-3
15	総合演習	全体のまとめ、計算問題	

■ 授業分担者

A組 赤沢学 B組 庄野あい子

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題のフィードバック：学生によるプレゼンテーションを行い、質問・解説等を行う
成績評価方法：期末試験（60％）、課題・レポート 2回（30％）、出席状況（10％）

■ 教科書

「2018-2019 公衆衛生がみえる」（第3版）メディックメディア社

■ 参考書

「厚生労働白書」 厚生労働省

「国民衛生の動向」 厚生労働省